

# 行政視察報告書

令和6年 5月 29日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 加納 義之

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 令和6年度議会運営委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和6年5月20日(月)～5月21日(火)
3. 視察場所及び目的
  - ①長野県伊那市  
議会改革の取り組みについて、オンライン委員会の整備等について
  - ②長野県駒ヶ根市  
議会改革・議会機能向上推進委員会の取組について、事業評価について

て、

基本条例の「評価・検証」について

4. 調査内容感想等
  - ・視察の目的
    - ①議会改革の取組について「伊那市議会の議会改革の主な取組」
  - ・視察内容

魅力ある議会づくりの検討委員会を立上げ令和元年度には、伊那西高校生徒の議会傍聴、翌月には高校生との意見交換会を実施。更には市民と議会との意見交換会。他にも伊那市中学生キャリアフェス2019への参加。企業がブースを設け中学生とふれあう。伊那弥生ヶ丘高校の議会傍聴。議会改革特別委員会の設置。具体的には、①提出の意図を聞くための請願・陳情の審査方法の見直し。②予算・決算審査の見直し。決算・予算特別委員会を設置す

る。③議会基本条例の見直し。令和2年度・3年度はコロナ禍のためオンライン開催。令和4年6月に議会改革特別委員会の設置。具体的に①市民参加の機会を増強。政策サポーターの導入。②議会機能の強化。所管事務調査のガイドライン策定。政策サイクルの導入。政策提言へ。

オンライン委員会の開催に向けての要綱等の整備について

基本的には本会議・委員会ともに開催な所へ参集し会議を開催するが新型コロナウイルス感染症まん延防止等の観点からオンライン委員会が可能となるようにする。運用に向けては、①出席要件、②委員会の運営、③公開と傍聴、④表決、⑤情報セキュリティ対策、⑥議事録、⑦執行部の対応、⑧その他必要な事項の整備。オンライン会議の運用が可能となるよう伊那市議会委員会条例の改正、会議規則の改正、オンライン委員会の開催要項の制定を行う。オンラインを活用した会議は、経済建設委員会協議会、ICT推進委員会、政策討論会等を開催し、更にはオンライン行政視察を実施（会津若松市議会）、災害訓練も実施されている。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

伊那市では、中・高校生のかかわりを持ち探究の時間を設けて市議会に提言をしてもらう。長浜市でも広報広聴委員会においてワールドカフェ方式で開催をしているが、なかなか若者の提言までは進まない。特に驚いたのは3月議会で高校生から請願がでて、それを議会が全会一致で可決したこと。本市でも若者たちの参加できる機会を増やすとともに一人でも多く市政に興味を持つ事業をしていかなければならない。また政策サポーター制度は、テーマを示してスタートし公募を基本としている。希望する委員会に参加できる

ようだが、私は委員会参加には疑問を持ちますが、意見交換はすべきではないかと思う。

・視察の目的

②議会改革・議会機能向上推進委員会の取組について「駒ヶ根市議会」

・視察の内容

議会機能向上推進委員会は、会議規則に基づき「協議又は調整を行うための場」の一つとして位置づけされている。他の協議の場としては、全員協議会、委員長調整会議、会派代表者会、広報広聴委員会がある、議会機能向上推進委員会の所掌事項は、①議会基本条例に規定する事項の検証に関すること。②議会機能向上に関すること。③政策提言及び政策立案の推進に関すること。委員の構成としては、議会運営委員及び初当選議員の代表者で構成。条例改正をはじめ、議会全般の改革や機能向上に関し、協議・検討を行っている。通常、議会機能向上推進委員会で協議した内容を議会運営委員会へ提案し、最終的に全員協議会などを経て決定されている。また、機動力アップとともに、より専門的な協議・検討が行えるよう、議会機能向上推進委員会傘下に「ICT 部会」「ワクワク未来部会」を設置し推進を図られている。

議会基本条例の制定と検証については、長浜市議会とほぼ同じように思える。課題としては、①議員間討議の活性化や政策立案に向けた取組。②ICT を活用した更なる情報公開・情報共有の取組。③市民等の傍聴を促進する積極的な取組があるという。課題解決に向けては、①条文の見直し検討。②議員研修の充実。を実施し、幅広い研修、常に議員間討議を意識し、ICT や政策形成研修を

積極的にする。議員間討議の活性化」や政策立案に向けた取組が不足しているため「駒ヶ根市議会クールダウンミーティング」の実施。目的としては、どのような視点で審査したか、審査を通じてどのような感想を持ったかなどをお互いに認識する機会とし、特別委員会審査終了後30分程度開催し、1日の反省会的なイメージで行っておられる。

ツキニミーティングの取組。

予算の事前検証・決算の事後検証に向けた施策の現状・課題・方向性を横断的に把握し、必要に応じて要望・提言ができるよう、常任委員会での対話機会を増やすことを重点に置くためにツキニミーティングを実施。

市民との情報共有及び市民参加推進の取組として意見交換会の実施や出前講座（こども未来会議の取組）、ワクワク未来部会（主催者教育の推進）、議会だよりの発行、議会広報モニター制度の実施し、女性議員比率が高くなった。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

「駒ヶ根市議会だよりに」が市民との結びつきをより強め、市民意見を議会報編集や議会活動に反映させるために、議会広報モニター制度を実施され、アンケートやモニター会議を通じて、議会報編集や議会活動全般について提言を行っている。女性も多く委嘱し、後に議員になる方もおられたとのこと。また近隣の飯田市、伊那市、駒ヶ根市で女性議員による広域連携の取組を進め、お互いに情報交換をしながら勉強会を実施されている。議会において女性が活躍することにより議会の活性化、地域の活性化に繋がると思う。